



様式第5号（第5条関係）

令和 5年9月11日

益田市議会議長
河野 利文 様

議員 永 見 お し え 印

益田市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、下記のとおり提出します。

令和5年度政務活動費収支報告書

1 収 入
政務活動費 60,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	68,740	令和5年5月18日から5月20日
研 修 費		(埼玉県戸田市他視察)
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	68,740	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費支出報告（調査研究費）

視 察 先	1、埼玉県戸田市役所教育委員会 2、砂防会館 3、日比谷シャンテ地下1階				
調 査 日	令和 5年 5月18日（木）～ 5月20日（土）				
視察内容	1、戸田市の教育改革について 2、益田市の課題について要望活動 3、日比谷しまね館「東京ふるさと定住・雇用情報コーナー」				
経 費	<table> <tr> <td>交通費 宿泊費 （飛行機パック）</td><td>68,740円</td></tr> <tr> <td>円合計</td><td>68,740円</td></tr> </table>	交通費 宿泊費 （飛行機パック）	68,740円	円合計	68,740円
交通費 宿泊費 （飛行機パック）	68,740円				
円合計	68,740円				
所 感	1、 戸田市の教育改革について 戸田市のデータ 戸田市の人口 141,218人 （R4.3.1.現在） 世帯数 67,484世帯 （R4.3.1.現在） 男性 71,985人 女性 69,233人 平均年齢 41.4歳 （R3.1.1 現在） 総面積 18.19km² （R4.1.1 現在） 人口密度 7,769.3人/km² 戸田市は、若い人が多く住んでいて、今も人口は増加している。令和5年5月1日現在の平均年齢が42.0歳で30代の子育て世帯が増加している。戸田市から池袋まで15分、新宿まで20分で行ける交通の便もいいことが影響していると考えられる。教育熱心な人が多いとも言われていた。視察も1年で100件、視察した日も3件の視察が入っていると言われた。 戸田市の戸ヶ崎勤教育長の所信表明から教育改革が始まったと言われた。教育長は各学校で校長と会話を重ねられた。 戸田市の教育改革の4つのコンセプト 1, AIでの代替は難しいなどの育成 2, 産官学と連携した知のリソースの活用 3, 「経験と勘と気合い（3K）」から「客観的な根拠」への船出 4, 授業や生徒指導等を科学する				

あくまで、改革を進めるのは学校の教育現場であり、教育委員会は目指すべき方向を示し、サポートするという考え方だ。

各学校でのいじめ根絶に向けた取組もデジタル化で定期的にやっていた。学校生活のアンケート、心のアンケート、いじめに関する聞き取り等による児童生徒の実態把握をしている。その中の学校生活のアンケートのデジタル化により早くできるようになり、学校の生徒対応が早期に可能になったと言われた。

戸田市いじめ撲滅強調月間を児童会・生徒会で取組んでいた。

さまざまな取組・改革をされていた中で、クラウドファンディングで寄付を募る取組をされていた。「戸田市未来の学び応援プロジェクト～ワクワクする未来の学びを一緒に実現しませんか？～」

学校発の提案を応援しませんか？こうした問いかけに賛同された方から総額500万円の寄付をいただいた。こうした取組に驚かされた。これからの時代を先取りされた取組であると感じた。産官学連携推進プラン2023で、今年度もたくさん事業がありそれを各学校が選んで実施する。そのことが、子どもたちにさまざまな力を身に付けるとともに社会でたくましく生き抜いていける力になるのだと感じた。益田市においても戸田市のようなしっかりとした教育改革の指針を作り、校長や教員に理解を求めていくことで、子どもたちに学ぶ力や生き抜く力を身に付けていけるような取組をしてほしいと感じた。

砂防会館

教育関係と道路関係の要望を行った。

日比谷しまね館

コロナ禍の状況とアフターコロナの現状をお聞きしました。コロナ禍では、休館する日も多かったが今は相談者も増えているとの説明があった。視察の日も、11時の開館を待って5人～6人のお客様がお買い物をされていた。うれしく思いました。

○文部科学省所管の「学校施設環境改善交付金」及び「公立学校施設費国庫負担金」における補助額について、算定配分基礎額を実工事費とし、補助率の引き上げ、さらに補助対象事業費の下限額の引き下げを図ること及び円滑な事業実施のための財政支援の充実

本市の耐震化に伴う大規模改築が必要な学校施設は2校あり、そのうち校舎と校舎をつなぐ渡り廊下が未耐震となる益田中学校については、令和4年度に渡り廊下を封鎖し令和5年度に解体することとしています。残る1校については、隣接校の再編計画に合わせ、学校のあり方を整理することとしています。

また、学校トイレの改修（洋便器化・乾式床化）については、国補助金を活用し、全ての小学校で、少なくとも1フロアが完了したところです。今後は、未施工部分及び中学校のトイレ改修について、方向性を整理していくこととしています。

これらも含め学校施設については、「学校施設の長寿命化計画」を踏まえ、児童生徒が安全・安心に学校生活を送れるように建物の機能や設備を良好な状態に維持し、出来るだけ長く活用できるよう長期的かつ具体的な整備方針をもって進めることとしている。

物価上昇下における資材等高騰の現状にあっても学校の施設整備を着実に実施するため、財政支援の拡充をいただきたいこと。

○教育不足の現状で、教職員の働き方を改善するためのスクールサポートスタッフの財政支援の充実

全国的に教員不足のなか、益田市においても例外でなく欠員が生じており、教員をサポートする会計年度任用職員を市が任用し学校現場を支援している。

一定の負担はいただいているものの、教員不足が解消されない中、学校現場を支えるためのサポートスタッフに係る経費の支援拡大いただきたいこと。

領 収 書



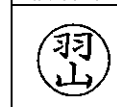
永見 おしえ 様

金 額				千		円
			7	6	8	740

内 訳

5/18~5/20 航空券宿泊代

扱者印

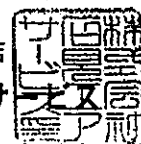


上記金額正に領収致しました

令和 5 年 5 月 10 日

No. 0002625

ANA石見地区総代理店
株式会社石見エアサ



◆ 社印および扱者印のないものは無効です

◆ 毎度ありがとうございます